

質問回答

平成 26 年 4 月 21 日

案件名: ネパール国タンコット峠トンネル建設事業準備調査

標記に係る質問の回答は以下のとおりです。

当該頁の項目	質問	回答
P11(14) 技術検討会の開催支援	「会場借り上げ費、資機材費等ネパール国内での費用は本業務の経費より充当するが…」とありますが、これはコンサルタントの諸経費から充当するという意味でしょうか？それとも別途経費を見込んでよいとの意味でしょうか。	経費を別途本見積りに計上して結構です。
P13(16) 4)縮小模型	縮小模型の縮尺が 50～100 分の1で大きさが 50cm x 100cm 程度とするとも指示書に記載されていますが、この指示内容から考えて、トンネル坑口部からトンネル内の構造がわかる範囲のみの作成であり、全線の縮小模型ではないという理解でよいでしょうか。	全線の様子・内部の構造がいずれもわかる模型として頂きたく、縮尺や規模については 50cm x 100cm を目安としますが、最終的には契約交渉にて改めて協議させていただきます。
P13(16) 4)縮小模型	縮小模型の輸送に必要な経費は、別見積りに含めることでよいのでしょうか。	別見積りとして頂いて結構です。
別紙 1 P1 2.調査項目(1)地質調査: 橋梁及び道路区間、及び P2 (3) 2)概略路線測量(橋梁概略測量)	閲覧資料によれば、橋梁建設の対象となる河川は3河川とありますが、指示書では地質調査、河川測量とも2箇所となっています。対象河川数は指示書通り2箇所でよろしいでしょうか。	失礼致しました。3カ所を想定しています。
P4(5)社会環境配慮調査 3)カテゴリ A 案件に求められる要件	左記によれば、本案件は「カテゴリ A 相当」と読み取れますが、これは「助言委員会に付議される可能性」があり、且つ「L/A 前の 120 日間の EIA 報告書公開」に相当するということでしょうか。	本案件はカテゴリ B 案件として実施予定ですが、調査中に望ましくない環境・社会影響が確認されカテゴリ A に変更される等の事態が想定されるところ、カテゴリ A 相当の EIA 報告書案を作成して頂く予定です。

	また、本調査期間内に環境社会配慮調査がどこまでに終わっている必要があるのでしょうか。	
前半：4頁 【業務従事者：担当分野トンネル計画】 類似業務経験	3月26日付の公示では「語学は評価するが、海外での類似業務経験は評価せず。」となっていたが、指示書ではその記載がありません。指示書が優先されると言う理解でよろしいでしょうか？	業務指示書のとおりです。「トンネル計画」については「対象国または同類似地域での業務経験」も「語学力」も評価項目です。
第2業務の目的・内容に関する事項 3頁	JICAによる「タンコット地区道路整備にかかる情報収集・確認調査」(2014年)の結果・・・を十分に活用しという表現が何力所か出てきます。 上記調査の報告書は、いつ貴機構から提供されるかご教示いただければと存じます。また仮に提供時期が遅れた場合は、履行期限延長等を顧慮していただけるという理解でよろしいでしょうか？	情報収集・確認調査の最終報告書は6月末に提供させて頂く予定です。提供時期が遅れた場合は、履行期限延長等を考慮いたします。
第2業務の目的・内容に関する事項 15頁 (23)本事業の評価	内部収益率Financial IRRは、具体的な金員による収入(有料道路等で通行料金)がないと計算できないものと思われま。本件業務には料金抵抗及び転換率の検討も含まれるという理解でよろしいでしょうか？	本事業は無料道路を想定しているのでFIRR計算は不要です。なお、FSの過程で有料道路として運営をすることとなった場合は、料金抵抗、転換率の設定等、FIRR計算に必要な検討が生じるものと想定していません。
第2業務の目的・内容に関する事項 17頁 3)調査業務報告書	業務実施契約の「コンサルタント業務従事月報」のことと理解してよろしいでしょうか？	コンサルタント業務従事月報との理解です。
別紙 P.2 第2業務の目的・内容に関する事項	本事業の建設業務対象区間は、トンネル建設、アプローチ区間道路建設、小規模橋梁建設の合計約5kmとの理解でよろしいでしょうか。	トンネル・道路の建設対象区間は記載頂いた約5kmです。ただし、建設残土処理場の特定に係る業務で、上記区間以外の近接地域にて調査を実施して頂く場

<p>2. 本事業の概要 (3) 事業概要</p>		<p>合があります。</p>
<p>同上 (3) 事業概要 3) 既存道路部分改修</p>	<p>既存道路部分改修の区間は、上記の約 5km 区間のことを指しているのでしょうか。それとも上記 1 の対象区間外ということでしょうか。後者である場合、おおよその改修区間総延長距離をご教示下さい。</p>	<p>現時点では上記の約 5km 区間を指しています。既存道路と新設道路の接続点等が部分改修の主な対象となる予定です。</p>
<p>別紙 P11 -12 (15) 関係者の招聘</p>	<p>人件費等については見積もりに計上とございますが、この関係者の招聘にかかる担当分野がございません。さらに、招聘する際のスケジュールや回数により必要な人件費が変わってきますため、別見積りとさせていただけないでしょうか。本見積りに入れるということであれば、日本での滞在期間、東南アジア各国への渡航期間および招聘の回数の提示をお願いします。</p>	<p>招へいは既存団員により実施して頂く予定であり、別見積りとは致しません。招へい回数は 2 度、渡航期間は計三週間を想定しており、各回の招へいではベトナムに立ち寄る想定です。</p>
<p>別紙 P.18 第 3 業務実施上の条件 3. 現地再委託</p>	<p>概略設計等の実施にあたり、経験豊富で優秀なローカルエンジニアは、ローカルコンサルタント会社に所属していることから、現地傭人でなく、現地再委託として提案させて頂き、概略設計等を実施することは可能でしょうか。</p>	<p>現地再委託の提案を希望する場合はその旨プロポーザルに記載願います。</p>
<p>別紙 1 P.1 ネパール「タンコット峠トンネル建設事業協力準備調査」に係る自然条件等調査仕様書 2. 調査項目 (1) 地質調査: 橋梁及び道路区間 1) 橋梁部ボーリング調査</p>	<p>調査箇所: 合計 2カ所の橋梁を想定とありますが、上記 1 において示されている「3) アプローチ区間小規模橋梁建設」では計 5カ所が対象となっております。調査箇所については合計 5カ所を対象とすべきかご教示下さい。併せて 1橋梁あたりのボーリングの本数および総ボーリング長をご教示下さい。</p>	<p>調査箇所は合計 3カ所です。各橋梁 1本(合計 3本)、各 30m 程度を想定しています。</p>

別紙 1 P.2 同上 (1) 地質調査:トンネル 区間 3) 電気探査 4) 弾性波探査	今回、現地再委託は、本見積りとなっておりますので、各々の探査(電気探査、弾性波探査)について、想定されている数量(回数・範囲)をご教示下さい。	弾性波探査:2km 程度(トンネル部全線)を想定しています。 電気探査:5測線程度、幅 500m 程度を想定しています。
別紙 1 P.2 同上 5) トンネルボーリング	今回、現地再委託は、本見積りとなっておりますので、トンネルボーリングにおいて想定されている数量(本数および総ボーリング長)をご教示下さい。	トンネルに沿って7カ所程度、50m から70m 程度を想定しています。
別紙 1 P.2 同上 (3) 地形調査 2) 概略路線測量 ・道路概略測量	概略路線測量を実施する道路について、幅をご教示下さい。	ROW は50m、幅員構成は未定ですが、以下の内容を想定しています。 路線測量(50m ピッチ):全線 中心線測量(50m ピッチ):全線 地形測量:300m 幅(中心線から両側 150m) トンネル坑口地形測量:600m 幅、100m 延長 現道すりつけ部:600m(交点から左右各 300m)

以上